

**食品機能性研究会**

**食品機能性研究部会**

1, 2 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 分科会（脳機能、免疫能、関節の運動機能）開催。脳機能分科会はアカデミアと個々の会議を開始。</li> <li>・ EU モノグラフ “ Functional Foods ; From Science to Health and Claims ” 翻訳版の最終化。</li> <li>・ 第 9 回栄養とエイジング国際会議プログラム委員会（11/24）に幹事長が出席</li> </ul>
3, 4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 8 回部会開催（4/14）3 分科会（脳機能、免疫能、関節の運動機能）の現状報告。脳機能分科会は 1 名のアカデミアと面談をした。</li> <li>・ EU モノグラフ “ Functional Foods ; From Science to Health and Claims ” 翻訳版は PDF 化して印刷する。印刷会社への依頼はしない。</li> <li>・ 第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の前日に ILSI Europe 事務局長の Dr. Nico van Belzen 氏に、EU のヘルスクレームの近況に関して講演していただくことに決定。</li> <li>・ 第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の食品機能研究部会プログラムとして武田弘志（国際医療福祉大 薬学部 教授）氏から、話題提供していただけることに決定。テーマは、脳機能の評価法。</li> </ul>
5, 6 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の前日に ILSI Europe 事務局長の Dr. Nico van Belzen 氏と、EU のヘルスクレームの近況に関して講演していただくことにつき、山口事務局長が ILSI Europe 本部で打ち合わせ。日程は、9 月 27 日の午後に決定</li> </ul>
7, 8 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 6 回「栄養とエイジング」国際会議のポスター発表原稿の提出</li> <li>・ 第 7 回部会開催（7/12）</li> <li>・ 「EU のヘルスクレームセミナー」開催案内の開始</li> </ul>
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の ILSI Japan30 周年記念シンポジウムに食品機能性研究部会としてのポスター発表および部会からの推薦講演者 1 名（武田弘志 &lt;国際医療福祉大&gt;）が発表（9/28 ~ 30）。</li> <li>・ 第 8 回部会開催（9/13）。</li> <li>・ 「EU のヘルスクレームセミナー」 &lt;Dr. Nio van Belazen（ILSI EU 事務局長）&gt; 開催（9/27）。</li> <li>・ 第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の最終会議に出席（10/20、末木部会長代行）。</li> </ul>
11, 12 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 9 回部会開催（12/6）。</li> <li>・ 2011 年度活動報告および 2012 活動計画・予算案を事務局に提出。</li> </ul>

**\* 脳機能分科会**

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	5 月 27 日：脳機能の評価系につき、武田弘志（国際医療福祉大 薬学部 教授）氏と面談。
7, 8 月	
9, 10 月	武田弘志による行動薬理学を中心とした講演と意見交換（10/26）。
11, 12 月	特に無し。

### \* 免疫能分科会

1, 2月	
3, 4月	
5, 6月	
7, 8月	
9, 10月	上野川アドバイザーとの会合(9/5)。
11, 12月	特に無し。

### \* ロコモ分科会

1, 2月	
3, 4月	
5, 6月	
7, 8月	アドバイザーの選択に向けて、ロコモを栄養と診断の両面から研究されている東京近郊の研究者の調査を行った。
9, 10月	都健康長寿医療センター研究所 新開省二部長を訪問。加齢による虚弱に関する最新研究動向を解説していただき、栄養の役割につき意見交換した(9/12)。
11, 12月	アカデミーのアドバイザー交渉の継続。